

きたかみ未来創造会議

創造NEWS 第14号

2010.2.4
第14回会議
選んだ指標の
優先順位を
考えるの巻

今回は、前回検討した結果を踏まえ、目指すべき将来の姿をあらゆる「指標」を整理するとともに、その指標が5年後、10年後に「どのようになればよいか」を考えました。

■第14回「きたかみ未来創造会議」の概要

今回は、それぞれの分野で「目指すべき将来の姿」を再確認しながら、それをあらゆる指標について「最も相応しいもの、大切なもの」を整理し、議論を深めることを優先した進行を行いました。そのため、話し合いの時間を多くとり、約100分間にわたるグループワークを行いました。

前回検討した「指標」について、「可視化してまちづくりの成果をはかっていく」ということを念頭に置きながら、まずは、その指標の現状値の有無に関わらず、目指すべき将来の姿を「最もあわせせる」、「最も大切である」と考える指標を優先度を持って3つ選択するとともに、選ばれた指標すべてに現状値が無い場合は、可視化できるよう「補助指標」の選択を行いました。

前回のふりかえりから「時間がなかった」という意見もあり、指標の考え方を整理しながら、この部分にこだわりをもって議論を重ねている分野もありました。

さらに、優先順位が確定した分野では、現状値がある指標について、5年後、10年後がどのようになっていけばよいか、過去のデータの推移と目指すべき将来の姿を対応させて、具体的にどの水準を目指していくのかを考えました。

この作業は、普段意識しない検討内容となり、どの分野も苦戦している様子でした。

また、目指すべき将来の姿の文言、意味づけを改めて再検討する分野もあり、それぞれ、指標づくりの議論が整理されてきました。

次回は、目指すべき将来の姿とそれをあらゆる指標、現状値があるものは5年後、10年後の目標となる水準が設定されてきます。また、水準の検討においては、他市の状況（値）もデータのとれるものは、参考として情報提供する予定です。少しずつ、目指すべき将来の姿をあらゆる「指標」の輪郭が見えてきました。

次回も積極的なご参加をよろしくお願いいたします。

<次回案内>

- 日時：2月24日（水曜日）18：30～
- 場所：市民交流プラザ（ツインモール西館）



用語の定義の検討（推進体制）



指標の優先順位の検討（保健福祉）



水準の検討（生活環境）



中間報告

＜それぞれの目指すべき将来の姿に対しての想定される指標＞

※指標は左から、第1優先、第2優先、第3優先、補助指標 を記入している。

※現状値がわかるものについては、現→現在地、⑤→5年後の目指すべき値、⑩→10年後の目指すべき値

分野：保健福祉

目指すべき将来の姿（具体的に実現したいあるべきまちの将来像）

A1 出産に対しての不安がやわらぎ、だれもが安心して産むことができる

妊婦検診率	周産期死亡率	産前産後の出産休暇 出産に伴う、男性が育 児休暇を取る割合	出生率の向上

A2 育児に対しての精神的、経済的不安が少なく、親と子供達が健康に暮らせる

育児世代の両親で、育 児環境が整備され、安 心して子育てが出来 たと感じる割合	育児休暇利用率	子育てサークルの利 用者数	乳幼児の死亡率の減 少

A3 働きながら子育てしやすい保育環境が整い、だれもが安心して子供を育てられる

保育園の待機児童数	放課後児童クラブ入 所者数	男性が育児休暇を取 る割合	育児に対して不安を 持つ人の割合

A4 育児相談が気楽にできる環境が整い、地域とともに責任をもって子どもを育てられる

地域子育て支援セン ター利用者数	子育て相談できる人 がいると感じる割合	育児環境への満足度	

A5 年をとっても、障がいがあっても必要に応じて支援や福祉サービスを受けられる

高齢者のボランティ ア活動、地域活動への 参加率	障がい者支援施設、団 体の利用者数	専門的資格をもって 携わる人の数	

A6 高齢者が身体的、精神的に健康で安心した生活を送り続けることができる

高齢者のボランティ ア活動、地域活動への 参加率	生きがいを持っている 高齢者の割合	高齢者雇用率	

A7 障がい者が自立した生活を実現できる環境がある

障がい者雇用率	福祉施設から一般就 労への移行数	授産施設利用者数	

A8

--	--	--	--

A9 積極的な健康づくりと疾病予防によって市民が充実した暮らしを送ることができる

1人あたりの医療費	特定検診受診率	生活習慣病罹患率	

A10 かかり医制度の充実と医療機関の開かれた連携によって、情報提供システムができ適切な医療サービスを受けられる

開業医と総合病院の連携の充実が感じられる割合	人口あたりの医師、歯科医師数	救急車平均搬送時間	医療サービスへの満足度、医師、歯科医の数が充実してきた

A1 1 病院や地域でのリハビリテーションが充実している

介助ボランティア数	リハビリ専門医の増加	障がい者や高齢者を持つ家族の中で、身近に相談できる人	

A1 2 地域で、互いに支え合い知恵を出し合って、誰もが安心して暮らせる

この地域に住んで良かったと思う人の割合	人口当たりの自殺率	乳幼児、児童虐待件数	

A1 3 身体的・社会的・経済的などあらゆる不安や困難に陥ったときに安心して話せる

不安に陥った時に相談できる場所があると感じる人の割合	民生委員の相談指導件数	福祉協力員への相談件数	見守り活動を行っている人の数、地域での福祉活動への参加者数

A1 4

--	--	--	--

＜それぞれの目指すべき将来の姿に対しての想定される指標＞

※指標は左から、第1優先、第2優先、第3優先、補助指標 を記入している。

※現状値がわかるものについては、現→現在地、⑤→5年後の目指すべき値、⑩→10年後の目指すべき値

＜それぞれの目指すべき将来の姿に対しての想定される指標＞

分野：教育文化

目指すべき将来の姿（具体的に実現したいあるべきまちの将来像）

B1 特色ある教育の実践と進学への支援により、優秀な人材が生まれている

標準学力検査及び学習定着度状況調査における正答率の上昇 現：111/98	中学生の中で学びたいことがある子どもの割合	学校が楽しいと感じる児童、生徒の割合（小学生、中学生）	
---	-----------------------	-----------------------------	--

B2 地域・家庭の連携により、子どもたちが生き生きと生きる力を育む学習環境が整っている

子どもの教育について学校、家庭、地域の連携が十分だと思う割合	地域の人で学校教育に関わった人の数（市民全般の中で）	児童生徒のボランティア参加者数	
--------------------------------	----------------------------	-----------------	--

B3 高等教育機関が創設されていることによって、より教育内容が豊かになっている

創設された高等教育機関の数	就職率	中途退学率	
---------------	-----	-------	--

B4

--	--	--	--

B5 より多くの市民が自ら質の高い生涯学習の機会を創出することによって、より豊かな生活を送っている

市内生涯学習事業への登録者数と申し込み者数	生涯学習事業への参加者数 現：67,709 ⑤：80,000 ⑩：100,000	市民1人あたりの図書館からの図書貸出冊数	
-----------------------	---	----------------------	--

B6

--	--	--	--

B7 産官学が連携することによって、先端技術を取得できる教育環境がある

産学官連携における講座数 現：26 ⑤：40 ⑩：60	産学官連携における講座の職場からの受講者数（一般） 現：662 ⑤：1,000 ⑩：1,500		
--------------------------------------	--	--	--

B8 誰もが健康や競技など、それぞれの目的にあったスポーツを、目的にあった指導により実践することができる

年齢型スポーツの機会数	定期的にスポーツを行っている人の割合	スポーツ環境に対して満足している人の割合	
-------------	--------------------	----------------------	--

B9

--	--	--	--

B10 守り育ててきた民俗芸能や文化財の価値を市民が理解し、次世代につなげることができる

30歳までの若者の中で、伝統芸能を継承しているグループに所属している人の割合	民族芸能と文化財に係る事業の数	民族芸能を発表する機会の数	

B11 市民誰もがさまざまな文化活動に触れる環境が整い、地域の特性を生かした生活を送ることができる

芸術文化活動の総参加者数	教育文化施設の利用者数（詩歌文学館、博物館など）	芸術文化活動の数	

B12 さまざまな国際文化に触れる環境が整い、多様な価値観を受容し、さまざまな文化と交流できる人材が育っている

学校教育に国際理解教育時限数	国際交流ボランティア数	国際交流行事の数	

B13

--	--	--	--

＜それぞれの目指すべき将来の姿に対しての想定される指標＞

※指標は左から、第1優先、第2優先、第3優先、補助指標 を記入している。

※現状値がわかるものについては、現→現在地、⑤→5年後の目指すべき値、⑩→10年後の目指すべき値

分野：産業雇用

目指すべき将来の姿（具体的に実現したいあるべきまちの将来像）

C1 農業・商業・工業が特徴を活かした連携によって、多様な発展を続け、魅力がある職場が生まれ出されている

就職を希望する高校生（働こうとしている人）を対象に、魅力ある職場があると思う割合	農商工連携新規事業数	法人の数	就業者数
			現：48,495 ⑤：48,750 ⑩：49,000

C2

--	--	--	--

C3

--	--	--	--

C4 それぞれの商店が独自の発想と資源の組み合わせにより、魅力ある商店街をつくり出している

市内の商店街で主に買い物をする市民の割合（市民全体にアンケートをランダム的に）	店舗数（事業所統計に基づく卸、小売、飲食、サービスの各業）	中心市街地歩行者数	
現：93.8% ⑤：95% ⑩：95%	現：2,997 ⑤：3,030 ⑩：3,050	現：1,939 ⑤：2,000 ⑩：2,100	

C5 北上独自の産業構造が構築され、安定した産業・雇用形態が形成されている

多様な

有効求人倍率	1人当たり分配所得額の向上	市内経済成長率	就業者数
現：0.33 ⑤：1.00 ⑩：1.30	現：2,785,235 ⑤：2,850,000 ⑩：3,000,000		現：48,495 ⑤：48,750 ⑩：49,000

C6 様々な資源を活かした、通年型観光の仕組みが構築されている

年間観光客数	観光宿泊者数	観光客に聞くリピーターの数	
現：1,629 ⑤：1,880 ⑩：2,000	現：186 ⑤：200 ⑩：220		

C7 地産地消の食糧循環サイクルが豊かになる・・・そうすることで具体的な指標が出る

売上高、学校給食の地元産利用率			

C8

--	--	--	--

C9 市民が農業の大切さを理解し、地域全体で農業を支え、安心安全な食料が提供されている

市内産の農産品を 進んで購入しようとす る人の割合（市民全体 にアンケートをラン ダム的にとる）	地産地消率（学校給 食）	農業体験参加者数	農業産出額
	現：26.1 ⑤：30 ⑩：35	現：119 ⑤：130 ⑩：150	現：1,042 ⑤：1,000 ⑩：1,050

C10 農業所得が向上し、新たな就農者が生まれ、安定的な農業経営ができる環境がある

市内産の農産品を 進んで購入しようとす る人の割合（市民全体 にアンケートをラン ダム的にとる）	新規就農者数	農家一戸当たり分配 所得額の向上	農業産出額
	現：46 ⑤：50 ⑩：80		現：1,042 ⑤：1,000 ⑩：1,050

C11

--	--	--	--

C12 さまざまな先端技術の教育が受けられる環境が整っている

学びたい

訓練・講座の受入 れ数	資格取得者数	受講者の就職率	技能検定合格者 の延べ人数	ものづくり体験 教室等
現：224 ⑤：200 ⑩：200			現：224 ⑤：250 ⑩：250	現：450 ⑤：500 ⑩：500

C13 産業分野で活躍できる人材が育成され活躍することによって、地元産業が発展している

地元への就職率	ものづくり体験教室 等ものづくり人材育 成の受講者数	職業訓練施設の延べ 訓練人数	コンピューターアカ デミー就職率
	現：425 ⑤：400 ⑩：400	現：224 ⑤：200 ⑩：200	現：86.4 ⑤：83.0 ⑩：80.3

C14

--	--	--	--

＜それぞれの目指すべき将来の姿に対しての想定される指標＞

※指標は左から、第1優先、第2優先、第3優先、補助指標 を記入している。

※現状値がわかるものについては、現→現在地、⑤→5年後の目指すべき値、⑩→10年後の目指すべき値

分野：生活環境

目指すべき将来の姿（具体的に実現したいあるべきまちの将来像）

D1 北上の自然を市民が共通の財産としてとらえ、それを次世代につなげることができる

小中学生のうち、緑などの自然環境などに満足している市民の割合	次世代につなげる取り組みを行っている人の割合	環境学習講座受講者数	自然を大切にしたいと感じる人の割合
		現：753名 ⑤：800名 ⑩：1,000名	

D2 里山・農村などの保全・整備によって、自然と共生を維持することができる

市民一人当たりの緑地面積	耕作放棄地面積	野生動植物種類	水辺で生息している生物の種類
現：13.12㎡ ⑤：13.38㎡ ⑩：14.00㎡		現：4,913種以上 ⑤：5,000 ⑩：5,500	

D3 自然破壊や人体に影響を与える公害を出さず住み良いまちとなっている

大気汚染物質に係る環境基準適合率	環境保全協定締結事業所の協定基準遵守率	騒音・悪臭等の状況に関する地区環境が良いと感じている市民の割合	
現：100% ⑤：100% ⑩：100%	現：95% ⑤：98% ⑩：100%	現：4913 ⑤：4913 ⑩：4913	

D4 新エネルギーの導入などにより、CO₂の削減に向けた仕組みが構築されている

総二酸化炭素排出量	太陽光発電量	低公害車導入台数	家庭エコ電化製品の導入率
	現：181.6万kwh ⑤：300万kwh ⑩：600万kwh	現：360台 ⑤：500台 ⑩：1,000台	

D5

--	--	--	--

D6

--	--	--	--

D7 市民、企業、行政それぞれで3R(リサイクル・リユース・リデュース)などごみ減量のシステムが構築され、循環型の社会が形成されている

リサイクル率	1人1日あたりのごみ排出量	市民、企業、行政それぞれの取り組み割合(企業を対象に)	
現：23.5 ⑤：30 ⑩：40	現：806 ⑤：780 ⑩：600		

D8 不法投棄がなく、ごみ分別のマナーが守られ、きれいなまちになっている

不法投棄発生件数	ごみステーションから回収されないごみの量（件数）	清潔なまちであると感じている市民の割合	
現：11 ⑤：8 ⑩：5		現：64.5 ⑤：70 ⑩：80	

D9

--	--	--	--

D10 地域・家庭・学校などが連携し交通事故のない市民誰もが安心して安全に住めるまちになっている

交通事故発生件数死者数	交通安全教室啓蒙活動への市民参加	交通違反者数	
現：235 ⑤：200 ⑩：150	現：12,734 ⑤：15,000 ⑩：17,000	現：4,532 ⑤：4,000 ⑩：3,500	

D11 地域・家庭・学校などさまざまな防犯体制の連携によって、犯罪のない市民誰もが安心して安全に住めるまちになっている

犯罪件数	青少年の犯罪、補導件数	市民を対象に、安心して住めると感じる人の割合	
現：715 ⑤：500 ⑩：400	現：犯 55 補 674 ⑤：犯 30 補 500 ⑩：犯 20 補 300		

D12 防災のための組織・連携構築と、災害に強い施設設備の充実によって市民の生活を守る

自主防災組織活動率	耐震診断実施戸数	耐震改修実施戸数	

D13 市民が高い防犯・防災意識を持って、市民自らが生活を守ることのできる環境がある

災害に強いまちづくりに対する市民満足度	防災訓練参加者数	救急救命の講習受講者数	
現：3.7 ⑤：4 ⑩：5	現：140 ⑤：150 ⑩：150		

D14 地域で災害発生ポイントが共有され、安全な避難経路や避難施設が平時から理解されている

高校生以上を対象に、避難経路や避難施設を理解している人の割合	避難所看板設置率	土砂災害危険区域周知看板設置率	常に防犯防災に対して、対策を行っている人の割合
	現：90% ⑤：95% ⑩：100%	現：50% ⑤：60% ⑩：70%	

<それぞれの目指すべき将来の姿に対しての想定される指標>

※指標は左から、第1優先、第2優先、第3優先、補助指標 を記入している。

※現状値がわかるものについては、現→現在地、⑤→5年後の目指すべき値、⑩→10年後の目指すべき値

分野：基盤整備

目指すべき将来の姿（具体的に実現したいあるべきまちの将来像）

E1 身体的・社会的などの背景が異なる全ての市民が不自由なく社会サービスを楽しむことができる

公共施設のバリアフリー整備施設数	公共施設の外国語案内数 (外国語だけでなく障がい者も)	市民の中で、市内を車で移動するときスムーズにできていると思っている人の割合	

E2 ひとにやさしく心地よく歩けるまちになっている

歩行者の中で、市内に歩きやすい道路環境があると感じる人の割合	歩道整備率	通学路における歩道整備率	
	現：歩車道境界ブロック設置率？% ⑤：1100% ⑩：プラス歩行者専用道路の設置		

E3 生活と産業を支える安定した上水道サービスが継続的に行われている

水道法に定められた水質基準の達成率	断水件数(断水事故、計画外のものを除く)	水道水を飲料水として飲む人の割合	
現：100% ⑤：100% ⑩：100%		現：？% ⑤：90% ⑩：100%	

E4 下水機能の整備・利活用がされ、快適になっている

水洗化率 ・水洗化率+活用率	下水道普及率	汚水処理施設整備済み人口/全人口	
現：79.1%、活用率(実際に継いでいる率)？% ⑤：80%、100% ⑩：80%、100%	現：60.4% ⑤：65% ⑩：70%	現：？ ⑤：90% ⑩：100%	

E5

--	--	--	--

E6 交通拠点との効率的な道路の整備によって生活・産業を支える道路ネットワークが構築されている

交差点滞留時間(時間と場所を限定)	市道改良率	市道舗装率	
	現：56.9% ⑤：59.0% ⑩：61%	現：51.4% ⑤：60% ⑩：80%	

E7 効果的な除雪や道路補修により、安全な道路環境が構築されている

除雪に対する苦情数 ・市民への除雪に対する意識啓発・PR数	道路に対する苦情率		

E8 高度情報網を使ったサービスによって、市民が生活機能の維持・充実している			
情報化によって便利だと感じている人の割合（高度情報通信システムの確立に関するアンケートあり）	高度情報サービス整備率	電子行政サービス利用者数	
	現：モバイル？% 光？% ⑤：モバイル100% 光+10% 地デジ100% ⑩：モバイル100% 光+10% 地デジ100%	現：167（HPのDLサービス）、4（電子予約・図書貸出）、10（メール配信・独自HP） 5：300、50、100 ⑩：600、150、200	
E9			
E10 持続可能な公共交通と地域での補完的交通により、市民誰もが快適に生活できる			
公共交通の利用のしやすさ	公共交通利用者数	通学、通院や買い物で不便を感じている人の割合	
現：43.2パーセント ⑤：70% ⑩：100%	現：電車3,730人 バス2,665人 ⑤：6,000人、 5,000人 ⑩：8,000人 7,000人		
E11			
E12 自然と都市の調和の取れた計画的なまちづくりによって持続可能な都市構造になっている			
あなたはこれからも北上市に住み続けたいと思いますか？	市民の公園に対する満足度（お年寄りや子どもがいる方を対象に聞いてみる）	北上市の土地利用制限についてあなたはどうか考えますか	
現：87.2% ⑤：90% ⑩：95%			
E13 各地区と中心市街地が連携し、市民誰もが生活に必要なサービスを受けることができる			
公共交通の利便性が高いと感じる市民の割合	各地区から、中心市街地に気楽に簡便に行けると感じる割合（地区限定で聞いてみる）	地域回遊歩行者や交通弱者等すべての利用者の安全な通行ができていていると感じる割合	
E14			

〈それぞれの目指すべき将来の姿に対しての想定される指標〉

※指標は左から、第1優先、第2優先、第3優先、補助指標 を記入している。

※現状値がわかるものについては、現→現在地、⑤→5年後の目指すべき値、⑩→10年後の目指すべき値

分野：推進体制

目指すべき将来の姿（具体的に実現したいあるべきまちの将来像）

F1 市民・企業・行政がそれぞれの自治における役割を理解しそれを果たすことができる

各セクター・自治

セクターごとの自治活動数 ・各 NPO、市民団体 へ活動者数アンケート ・商工会議所から企業 へアンケート	自治における市民の役割を理解している人の割合 ・まちづくり協働推進 条例における「市民等 の役割」の理解者数を 把握するアンケート		

F2 全ての世代がまちづくりを自主的に関わっており、より満足感のある社会になっている

各セクター・自治

まちづくりへの参加者数 ・市政座談会の参加数	住んでいる地域に愛着を持っている人の割合 ・意識調査の満足度	現在の市民参画のあり方に満足をしている人の割合 ・活動センター利用者数 ・活動褒賞における情報提供数	

F3

--	--	--	--

F4 それぞれが特色を活かした地域づくり活動が実践され、誇りと愛着をもった人・地域が形成されている

地域づくり

F4、F5の下線部同じ？

地域づくり活動参加者数、 地域づくり活動数 ・市内16自治が行う 地域づくり事業参加 率 ・座談会の参加数 ・各地域づくり活動数 アンケート	住んでいる地域に愛着を持っている人の割合	自分の生まれ育った地域に住み続けたいと思う人の割合	

F5 活発な地域活動に行われており、生活機能が維持されている

地域づくり

自分の生まれ育った地域に住み続けたいと思う人の割合 ・地域が主体となって 行う分の地域計画の 進捗率	地域づくり活動数	40歳未満の市民活動への参加率	

F6

--	--	--	--

F7 市民・企業・行政がそれぞれの立場を理解し、責任と役割のもとに、互いの長所を活かした協働ができる

協働

F7とF8の下線部同じ？

F8 市民と企業との協働があり、多様なサービスがうけられている

協働

F9

--	--	--	--

F10

--	--	--	--

F11

--	--	--	--

F12 みんなで情報を共有し、一緒に話し合える場があり、市民・企業が共感をもつ行政サービスが実現出来ている

F13 施策優先度と市民ニーズが反映され、公共サービスを継続的に提供できる財政基盤が構築されている

公的サービス

F14

--	--	--	--

F15 国・県・他市町村と効率的な役割分担の仕組みが構築されており、効果的な公共サービスが実現している

F16

<ふりかえりカードから>

○ファシリテーターの上手な進行により活発な意見交換がなされました。おつかれ様でした。

○指標を考える程、目標が現状維持になってしまう。全体的に下がりぎみということが明確になっている。資源、人の取捨選択も必要なのかなと強く思った。

○指標絞り込むほどに一抹の不安が。

○1回（前回）欠席したが、班のファシリテーターのリードで予定された内容の意見交換がなされた。（指標づくり）

○最初は“目指すべき将来の姿”の夢物語りであったが、指標を当てはめると現実的になり、5年後も10年後もマイナス値となり、夢が飛んだ。当班は常に3人で少数で意見もまとまり、仲間に恵まれている。

○キーワードで分別しているが、指標が共通してしまうので、後戻りが多かった。

○指標を決めるのは難しい。

○やる程、将来像が不適切だったり、意味不明だったり。自分らで作ってきたはずだけど。そういう訳だから、指標設定は時間をかけると皆おのずと気がついてくるようです。

○何をもってのはかるかというのを考えるのがとても難しかったです。班員の皆様が様々な視点を持って話されたので、勉強になりました。

○指標の数値化は大変であった。D4-1にて国の数値が出ているが、行政単位の指標化するデータが取れないものであるか。個々の指標が5年10年後を見ると他の項目との関連であるなど幅広く見る必要もあった。

○班によって進み具合にバラツキが生じている。（少しあせってきた）目標となる水準まで到達できるかどうか不安になってきた。（〇〇率は、□□数÷△△となる そのようなもので示してもらえれば…）

○自分の仕事内容の5年後10年後の指標がほんとにビシバシきまして、ガンバラねば！と思った幸いです。おつかれさまでした。

○進行サポーターの指導の下、スムーズに進むことができて良かった。この会議もあと数回です。欠席なく今後も参加したい。

○具体的な指標を設定するのがむずかしい分野だと感じた。

○指標から水準を考えると、漠然とした指標では考えにくい。具体的な言葉に置き換えて、果たして良いものか考えました。

○5年後10年後にみてみたい数字はなにか？を考えるといいんですねと思った。

○現状値のない項目の検討が難しい。掘り下げるとなかなか作業が進まなかった。いろんな意見が出て良かった。

○3回振りぐらいの出席になってしまいました。佳境に入ってきて、具体的な案を出していくのはなかなか難しいなと感じました。

○なかなか進まないで申し訳ありません。

○事務局が頑張ってくれたので助かっていますが、大変です。とにかく、範久さん、事務局に感謝！！

○具体的な値を意識したとたん話が出はじめた。一方で、将来の姿の観点がそれぞれ切りかわるので、頭の切りかえと認識の統一が非常に難しい。・・・でも楽しい。